

平成 30 年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

令和元年 5 月 3 日
代表者 石川 敬史

研究課題名	複合的機能を内包する「はたらく自動車」の受容と主体形成に関する実証的研究
研究期間	平成 30 年 6 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
共同研究者	
1. 今年度の研究概要	
<p>移動図書館車や移動販売車, 移動美容車など, 「はたらく自動車」は地域に何を運び, 地域はどのように受容しているのであろうか。研究代表者によるこれまでの研究から, 「はたらく自動車」の傾向や特徴として, ①運行する機関の目指すべき姿が自動車に体现されたシンボリック的存在であり, ②担当者の信念をも運び, ③地域社会をつくる「時計」となり, ④行政域や制度の境界を越える存在であることが明らかになった。確かに, 「はたらく自動車」は高齢者が増加する中山間地や都市部の団地, 福祉施設などにおいて, 人が集う意義が注目されている。しかし, 「はたらく自動車」は図書館やスーパー, 美容室などの機能に分化され, 地域住民は「はたらく自動車」の定型的方法を受け入れる「利用者」として位置づけられている。本研究では, これまでの研究成果を踏まえ, 単一的機能に留まらない複合的機能を内包する「はたらく自動車」に焦点をあて, 多彩な「はたらく自動車」をつくる担い手とその活動方法について, 実地調査から現代的意義や公の機関(教育機関)が担う教育的意義を考察し, 今後の展望を明らかにした。</p> <p>研究費予算の削減の影響もあり当初の実地調査先を再検討することとなったが, 具体的な実地調査先としては, ①株式会社バリューボックスによる「ブックバス」(長野県麻績村), ②名古屋盲人情報文化センターによる「ITバス」(愛知県名古屋市), ③あかし市民図書館・移動図書館(兵庫県明石市), ④トレイルヘッズ株式会社「OFFICE CARAVAN」(東京都西多摩郡檜原村)を訪問調査し, また文献調査としては, ①中日新聞社「ラッキーカー」, ②兵庫県教育委員会社会教育課などの「移動公民館車」, ③八幡市(現・北九州市)の移動児童館車, ④ファミリーマートの「移動研修車」を調査・分析した。同時に, 関連学会等に参加し, 情報交換を積極的に行った。</p>	
2. 研究の成果	
<p>本研究の成果については本報告書の次節に取り上げているが, これらを整理すると, 「はたらく自動車」には, ①呼称やラッピング, 活動風景も含めた自動車というメッセージ性とシンボリック性, ②計画された教育プログラムに選択された教材を用いた共に学びあう教室づくり, ③一方的な教授ではなく, 気づきや興味を広げる語りかけという学びの広がり, ④担当者の熱意による教材と教育プログラムの開発が内在していることがわかった。また, 「はたらく自動車」の今後の課題としては, ①特定機関による個別・単独の活動であること, ②インターネットなどの情報通信環境の整備, ③特定の担当者の熱意に支えられ, 活動の持続性と限界性があること, ④巡回した期間内の敷地に限らず, 地域における広がりも必要であることが明らかになった。他方で, 「はたらく自動車」のさらなる展望としては, ①「はたらく自動車」を受動的に受け入れるのではなく, 住民がどのように主体的に活用していくのか, その仕組みづくりや, ②特別な活動ではなく, 日々の日常生活の中に(地域の生活課題に), どのように埋め込んでいくのが求められていくといえる。</p> <p>今後の研究課題としては, 研究代表者が積み重ねてきた戦後日本移動図書館の調査も踏まえながら, 地域住民の移動図書館の受容も視野に(次年度プロジェクト研究申請), こうした「はたらく自動車」の巡回方法について公立図書館が担う移動図書館活動がどのように反映していくのか, 移動図書館の現代的意義と展望を考察していきたい。</p>	

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

本研究の成果は、以下の通りである。実地調査については、連載記事を研究ノートとして記録を積み重ねてきた。この成果をもとに講演会・研修会の講師として、現場の図書館員や博物館・教育機関関係者へ還元し、さらには研究会での発表を重ねていた。

（1）研究発表

- ①石川敬史「移動図書館の歴史と課題，移動博物館の可能性」第3回全日本博物館学会博物館教育研究会例会，2019年3月16日
- ②石川敬史「はたらく自動車の解説：移動図書館の可能性につなぐために」日本図書館研究会第343回例会，2018年12月17日
- ③石川敬史「自動車で移動する社会教育活動の意義と課題：図書館，博物館，水族館を中心に」日本教育情報学会第34回年会，2018年8月26日

（2）講演会・研修会

- ①石川敬史「移動図書館を考える」今治市立図書館スタッフ研修会，2019年3月28日
- ②石川敬史「移動図書館を読み解く：はたらく自動車，移動する活動」図書館流通センター館長セミナー2018，2019年2月6日

（3）連載記事

『うごく・はこぶ』株式会社郵研社，Web サイト 月1回程度更新（1回約2,500文字程度）
<http://www.yukensha.co.jp/contents/essay2/page/essay.html>

- ・不思議な「ラッキーカー」（2019年4月）
- ・「はたらく自動車」という物語を綴る（2019年1月）
- ・「ひろがり・つながる「ITバス」」（2018年10月）
- ・「「あかし号」，「ひまわり号」，そして「めぐりん」へ」（2018年9月）
- ・「リユースのブックバス」（2018年8月）
- ・「現場で人を育む移動研修車」（2018年7月）
- ・「移動公民館車」（2018年7月）
- ・「児童文化車「くまごろう号」の轍」（2018年6月）
- ・「働くこと」と「生きること」（2018年5月）
- ・「見える」社長車」（2018年4月）

（4）今後の予定

連載記事についてはそのまま持続し，著書として2020年度を目標に著書として整理していきたい。また，現在の移動図書館のあり方・運営方法の再検討も踏まえながら，2019年度プロジェクト研究（申請中）の成果を反映した研究成果を本学紀要か外部の雑誌に執筆していく予定である。